

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市江坂町一丁目マンション	階数	地上15F
建設地	大阪府吹田市江坂町一丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2020年7月10日
敷地面積	943 m ²	作成者	藤原 武士
建築面積	606 m ²	確認日	2020年7月25日
延床面積	7,182 m ²	確認者	丸尾 順治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	89%
③上記+②以外の	89%
④上記+	89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.4
温熱環境	3.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.6
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	2.2
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.4
地域環境	2.9
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能:T-2以上。	Q2 サービス性能 住居・宿泊部の天井高2.5m以上。 主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし。
LR1 エネルギー	[BEI][BEIm] = 0.81。	LR2 資源・マテリアル LGS使用している。 ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して89%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0056

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市江坂町一丁目マンション新築工事						
	建設地	大阪府吹田市江坂町一丁目						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							